

改定の概要

主な改定内容

- ◆ 評定者の変更
 - ・ 総括監督員を追加し、立会人、総括監督員、検査員の3名の評定者により評価を行います。
- ◆ 各評定者の評価項目(考査項目・細別)の変更
 - ・ 評定者として総括監督員を追加し、検査員の評価項目であったもののうち、本来監督員が施行中の状況を確認し評価すべき項目を担当します。

改定による主な効果

- ◆ 検査時の受注者の負担軽減
 - ・ 工程管理, 安全対策, 社会性等などの評価項目については, 検査時に1度のみの説明により検査員の評価を受けるため, 提示資料の整備に多大な労力と精神的負担を要していましたが, 改定後は立会人, 総括監督員の評価項目となるため, 施工中の監督員への資料提示により適切な評価を得ることができ, 不要な負担の排除とよりの確な評価が可能となります。

施行期日

- ◆ 平成28年2月1日以降に実施する中間検査・完成検査から適用します。

※詳細については, 土木工事成績評定基準(平成28年2月1日から)をご確認ください。